

## 【栄区】平成 29 年第 3 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	平成 29 年 9 月 4 日（月） 14 時 00 分 ～ 15 時 30 分
場 所	栄区庁舎本館 4 階 1 号会議室
出席者	<p>【座 長】石渡 由紀夫議員</p> <p>【議 員：2 名】輿石 且子議員、大桑 正貴議員</p> <p>【栄区：22 名】小山内 いづ美 区長、見上 正一 副区長、 近藤 政代 福祉保健センター長、 前田 博之 福祉保健センター担当部長、 鈴木 誠 土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 28 年度個性ある区づくり推進費決算について</li> <li>2 平成 29 年度個性ある区づくり推進費執行状況について</li> <li>3 平成 30 年度栄区予算編成の考え方について</li> </ol>
発 言 の 要 旨	<p style="text-align: center;"><b>【議題 1：平成 28 年度決算について】</b></p> <p>大桑議員：環状 4 号線周辺商店街にぎわい創生事業について、3 回の検討会で話し合った内容を教えてほしい。また、29 年度についても事業名を変更して実施していると思うので、今の状況もあわせて教えてほしい。</p> <p>早乙女地域振興課長：</p> <p>28 年度ですが、当初イベントを実施する予定でしたが、環状 4 号線商店街のある本郷中央地区の関係者等に参加していただき、検討会を 3 回実施しました。検討会の中で、まずお互いが顔見知りになるために、朝市等を実施しようということになりました。29 年度については、環状 4 号線周辺だけでなく、栄区全体で対応できるように、事業名を商店街にぎわい創生事業に変更しており、2 つの商店街で朝市等を実施する予定です。なお、検討会がきっかけとなり、8 月 20 日に行われたいたち川まつりに初めて区商連が出店しました。また、新大船商店街で 20 年ぶりに開催された夏祭りについても支援という形で参加させていただきました。</p>

大桑議員：再チャレンジ応援事業について、就職した12名について、その後どのようなフォローをしているのか教えてほしい。

中村生活支援課長：

就職した12名については、辞めてしまった方もいます。就職したから終わりというわけではなく、就職した当時から辞めないような声掛けをしています。また、辞めてしまった方には、再度就労支援を実施しています。

大桑議員：就職して終わりではなくてそこからスタートになるので、しっかりフォローしながら今後も実施してほしい。

認知症の初期や疑いのある方のカウンセリングについて、29年度も事業名を変えて続けていると思うが、状況を教えてほしい。

角田高齢・障害支援課長：

28年度に実施した中で、認知症の方を抱えるご家族からの相談だけでなく、難病も含めて介護者として不安を抱えている方々からの相談もありましたので、29年度はカウンセリングの回数を少し増やして実施しています。引き続きニーズに応えていきたいと思います。

大桑議員：統合失調症等の病気の対応は可能なのか。

角田高齢・障害支援課長：

この事業は介護者の方のカウンセリングということで実施していますが、例えば高齢・障害支援課の障害担当で話を伺い、ご要望にあう講演会や相談会等を紹介することはできると思います。

大桑議員：積極的に事業を発信しながらぜひ実施してほしい。

庁舎改善事業について、駐車場の白線が少し薄くなっている。また、駐車場を逆走して運転している人もおり、事故が起こりかねないので、今後白線を引き直す際には注意喚起もあわせて実施してほしい。

小泉総務課長：検討し、適切に対応していきます。

興石議員：全体の資料のつくりについて、効率的に全体が見えるように、執行状況の資料に前年度の予算と実績を記載してもらえると増減がわかりやすいので今後検討してほしい。

小泉総務課長：見やすく、わかりやすい資料づくりを検討していきます。

興石議員：区づくり連絡調整費については、区民から出たニーズに迅速かつきめ細やかに対応するために重要な予算だと思いますので、今後も有効に使ってほしい。

小山内区長：区民の方々から色々な要望をいただいた時に、それぞれの課でもっている予算で対応出来ない様な場合は、この予算を活用し、今後も迅速に対応していきます。

興石議員：防災力向上事業について、現在のハザードマップは栄区側からの地図になっており、横浜市と鎌倉市の市境を流れる砂押川が載っていないが、氾濫による被害は想定されると思うので、近隣自治体や県と協力して住民目線のハザードマップを作ってもらいたい。また、検討していることがあれば教えてほしい。

長谷川土木事務所副所長：

砂押川は横浜市と鎌倉市の市境の鎌倉市が管理する準用河川です。大雨が降ると浸水の恐れがありますので、所管である本庁や鎌倉市と協力しながら対応を検討していきます。

興石議員：ハザードマップを作り変える予定はあるのか。

見上副区長：今のところ予定はありません。県が崖地について見直しをしていますので、それにあわせて防災マップを先に作り変える予定です。

興石議員：県が行っている崖地調査は、荒井沢市民の森のような市が危険崖として指定したものから外れている崖について、どのように把握しているのか。

見上副区長：県から情報はいただいているが、どのような対策をうってどのように実施しているかはわからないというのが正直なところです。

興石議員：県と市は連携をとっていないのか。

見上副区長：連携はとっていると思いますので、市を通して情報を挙げていきます。

石渡議員：ハザードマップは区ごとに区の予算で作っているのか。

見上副区長：市の予算で作っています。

興石議員：区ごとに視点が違うマップになっている。

石渡議員：砂押川については、栄区の区境で線が切れているため、砂押川自体は鎌倉市になる。それぞれのマップについて一度整理していただくとともに、砂押川の取扱についても、また教えてほし

い。

見上副区長：危機管理担当と整理します。

興石議員：女性の視点による避難所運営事業に参加したが、とても内容がよかった。予算を組んで実施したことは進んだ取組であり、この事業のように地域の方が協力してくれる体制があるということが栄区のブランドとしてとても有効だと思う。29年度はどのように考えているのか。

小泉総務課長：28年度は女性の視点による避難所運営事業ということで実施しましたが、29年度はセーフコミュニティ災害安全対策分科会の中で、女性や妊娠している方を含めた災害時要援護者のための別教室利用に関する提言を分科会でまとめ、拠点運営委員会や小中学校の校長会でお願いをしています。

興石議員：この事業で、熊本の震災を踏まえた公共施設のトイレトーパーの備蓄を10倍に増やすべきということを皆さんと確認し、議会で話をした結果、今増やしていただいている。今後も連携していきたい。

小山内区長：この事業を実施したことにより、男性が多い地域防災拠点の運営委員会において、女性の視点による避難所の運営が必要だということをそれぞれの拠点で認識いただき、今はご高齢の方や乳児をもつ親子のスペースなど、色々な状況に対応していこうという機運が各防災拠点で生まれていますので、今後も応援をお願いします。

#### 【議題2：平成29年度執行状況について】

大桑議員：自殺予防対策について、今の状況等を教えてほしい。

林福祉保健課長：

自殺予防対策についてはセーフコミュニティ自殺予防対策分科会の中で取組を実施しています。栄区では、件数自体は多くなく、年代もどの年代が多いということはない状況です。まずは自殺に対する理解を深めてもらい、困っている人がいたら声をかけるなど、セーフティーネットを敷いていくような取組を現在しています。

また、ハイリスク者支援事業では、自殺リスクが高い方に、精神障害の方が多いということから、その方たちへの支援につい

て、今年度から関係機関と一緒に検討しています。

大桑議員：ハイリスク者支援事業のリーフレットが10月にできるということなので、またそのときに色々教えてほしい。

輿石議員：今までのデータの蓄積による分析という考え方から、自殺リスクをもう少ししっかりはじき出す必要があると思う。セーフコミュニティ自殺予防対策分科会の28年度決算を見ると、基礎データ整理のため委託を予定していたが、新たな統計データを追加し、次年度に委託を実施することにしたということだが、委託はどのようなところを想定しているのか。

また、セーフコミュニティの運用の仕方が見えづらい。蓄積されたデータの活用をもう少し踏み込んで実施していく必要があると思う。

林福祉保健課長：

データ委託はこれから行うため、委託先はまだ決まっていません。自殺の統計は市の人口動態のデータや警察から提供されるデータ、救急搬送のデータ等があり、数値も少しずつ異なるため、きちんと整理し、分科会の活動で生かしていけるような内容で委託を実施する予定です。

輿石議員：本気で自殺対策をしていくためには委託先の選定は重要だと思うので、どこに何を委託するのかということ、動いていく中でまた教えてほしい。

石渡議員：それぞれのデータは定義が違うので、必ずしも一致はしないと思う。

雨堤区政推進課長：

セーフコミュニティの各種取組をしていく中で、データの活用については改めてしっかり分析を行っていく必要があると考え、7月に傷害サーベイランス分科会で実務チームを立ち上げデータ収集・分析の方法等について打ち合わせを行いました。自殺も含めてその他の分科会とデータの活用の仕方をこの会議を通じて色々意見交換しながらしっかりと行っていきます。

輿石議員：市役所のWebサイトが再構築を検討している中で、区のホームページはどういう状況なのか。

雨堤区政推進課長：

使い勝手のよいホームページをつくるということには行ってい

	<p>ますが、市役所の Web サイトの再構築を念頭に置き、それを見据えた対応をしていく必要があると考えています。</p> <p>石渡議員：区役所でホームページに係る予算は計上しているのか。</p> <p>雨堤区政推進課長：</p> <p>職員が作業を行っており、業者へは委託していませんので、予算計上はしていません。</p> <p>見上副区長：例えば市の Web サイトの再構築に伴い、区のホームページを大幅に改修する必要がある場合は予算措置が必要になりますが、現状は見直しがある都度職員が対応しています。</p> <p>輿石議員：これから栄区ブランドを発信する際にも、ホームページを活用すると思うので、見た人が気概を感じるようなページづくりや、ブランド力の構築と広報を連動させるようなページづくりをしてほしい。</p> <p>雨堤区政推進課長：</p> <p>魅力あるわかりやすい広報、ホームページづくりを視野に入れ、今後検討していきます。</p> <p>石渡議員：栄区は人口減少と高齢化が今後も続いていくと思うので、交通問題等、そういうことを念頭においたまちづくりをしてほしい。</p> <p>小山内区長：交通の問題については今年度も取組を進めていますので、またご報告させてください。人口については、駅前の再開発で増える可能性もありますが、郊外部も含めてより細かく見ていきたいと思います。</p> <p>石渡議員：最後に、会議報告書の作成についてですが、座長に一任させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>輿石議員・大桑議員：了承。</p>
備 考	